

「ボランティア体験・学習キャンプ」の参加者を募集します

<2016年5月22日 えらぶ年寄り組>

実施する事業	「ボランティア体験・学習キャンプ」
場 所	噴火警戒地域を除く、口永良部島内
実施団体	子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組 (略称 えらぶ年寄り組)
連絡先	erabu.info@gmail.com 090-5886-2537 えらぶ年寄り組 代表 山口英昌
趣旨と内容	<p>◆目的 口永良部島の生物多様性を学び・守り・啓発するとともに、火山の噴火で被災した島を元気にすることが目的です。</p> <p>◆内容 生徒・学生・若者に自然保護ボランティアとして口永良部島に来島を呼びかけ、島民が続けてきた生物多様性を守る活動に参加して、島の自然や災害・歴史・暮らしを学んでもらいます。 「ボランティア体験・学習キャンプ」は、国立公園でありユネスコエコパークでもある島の生物多様性を守り・啓発する活動です。</p>
事業について	<p>◆特徴 本事業は、このユネスコエコパーク理念を実践する活動でもある点にも特色があります。 2016年3月に「屋久島・口永良部島ユネスコエコパーク」として口永良部島の拡張申請が認められました。 エコパークの理念は、 ① 生物多様性の保全、②学ぶ、③地域の発展 など3本柱を理念としています。</p> <p>◆期待できること 事業を実施し継続することで、おのずと短期的な交流人口の増加や、雇用の創成のきっかけとなり、火山噴火で打撃を受けた島の暮らしの復興につながると期待しています。</p>
キャンプの内容	<p>「ボランティア体験・学習キャンプ」の内容は次の通り。</p> <p>① エラブオオコウモリの調査・学習 ② シカ・ノヤギの被害・生息の調査・学習 ③ 植生調査 シカやノヤギによる照葉樹林の林床への影響調査・学習 ④ アオウミガメの生息調査・学習 ⑤ 島の動植物の学習 ⑥ 島の暮らしや歴史学習 ⑦ 災害学習</p>
実 施 体 制	<p>県の自然保護課、屋久島町環境政策課および社会教育課などと連携するとともに、学者・研究者など専門家の指導・協力を得ながら、「えらぶ年寄り組」が担当します。</p> <p>◆協力団体 屋久島ヤクタネゴヨウ調査隊・手塚賢至代表 鹿児島国際大学・船越公威教授 鹿児島大学・西隆一郎教授 広島大学・坂井陽一教授 大妻女子大学・干川剛史教授 慶応義塾大学・長谷部葉子准教授 大阪市立大学・西川禎一教授</p>

	<p>◆公的機関 鹿児島県立博物館 屋久島環境文化財団 鹿児島県・自然保護課 屋久島町・環境政策課</p> <p>◆島内での協力団体 日高樹木医事務所・日高一富 えらぶ漁業組合「漁振会」 口永良部島ガイド協会 口永良部島伝統芸能保存会、 口永良部島消防分団</p>
参加について	<p>◆対象 「えらぶ年寄り組」や島内の他団体が行う行事にボランティアとして協力出来る方。</p> <p>◆申し込み方法 「えらぶ年寄り組」主催の行事は、「えらぶ年寄り組」にご連絡ください。 島内「他団体」の場合は、ボランティアする団体を通じて、申し込んでください。</p> <p>◆ボランティア内容は、持ち込み企画を歓迎します。</p> <p>◆小学生の低学年グループでは、グループ1人程度の、保護者の付き添いを希望します。</p>
キャンプ スケジュール	<p>◆参加者の受け入れ 通年 キャンプ実施ごとに、現地調査実習、学習会を開催します。</p> <p>◆宿泊は、 「口永良部島エコパークキャンプ場」を利用します。 好天時はテント、雨天の際は、避難宿泊施設を使用します。</p>
参加費	<p>参加費は、平成28年度は無料です。 宿泊費も無料（今年は試験的实施です）です。 食材は各自が持参して、自炊が原則です。</p>
申請中です	<p>現在、鹿児島県の「平成28年度NPO共生・協働・かごしま推進事業」に申請中です。もしこれが認められれば、調査演習や学習会の講師に多くの先生方をお招きできます。 助成の可否にかかわらず、本事業は実施します。</p>
他団体 ボランティア活動 の紹介	<p>下記は、島内の他団体が行っているボランティア活動です。</p> <p>災害復旧・復興ボランティア 農業体験（カライモ、ガジツ栽培、稲作復活） 漁師体験（釣り指導・釣り具つきですが参加費が必要です） 牧場体験</p> <p>などがあり、希望者がおられれば、それぞれの団体にご紹介しています。 興味のある方は、ご連絡ください。 erabu.info@gmail.com 090-5886-2537</p>

小・中・高校生・大学生の「ボランティア体験・学習キャンプ」の日程プラン（例）

初日		到着 14時50分	
	午後	キャンプ説明、災害学習、島内見学	
	夜	コウモリ観察・学習	夕飯自炊
		オプション：植生学習、タカツルラン学習、ウミガメ学習	
2日目	午前	ペリット調査	朝食自炊
	昼		昼食自炊
	午後	ウミガメ調査、噴火災害学習、里めぐり	夕食自炊
	夜	コウモリ再チャレンジ、シカ調査	
3日目	午前	ペリット調査、照葉樹林探索、古老語り部	朝食自炊
	昼		昼食自炊
	午後	里めぐり、歴史学習	
	出発	14時30分解散式、見送り 出発 15時30分	

季節・天候・参加メンバーなどの状況により、オプションから選んで実施します。

<参考資料> 「えらぶ年寄り組」はこんな団体です。

団体・組織名	子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組（えらぶ年寄り組）
所在地	屋久島町口永良部島 1232-3
代表	山口 英昌
連絡先	090-5886-2537
メールアドレス	yama3hide3@gmail.com
ホームページ	http://kuchi-erabu.org/senior/index.html
団体設立年月日	平成 24 年 9 月 1 日
活動目的	口永良部島の島民が、子々孫々にわたって住み続けられるよう願って、島の文化と豊かな自然を守ることを活動の中心としています。ひとつは、島の暮らしや歴史、観光スポットなどの情報を、インターネットを通じて島内外に発信しています。島のホームページ「口永良部島ポータルサイト」 http://kuchi-erabu.org/ 。私たち島民の伝統文化を守るとともに、それを発信して観光客の増加を図り、島民の暮らしを豊かにすることを目的としています。いま一つは、生物多様性の保全活動で、島の動植物の生態調査と保護があります。 http://kuchi-erabu.org/senior/ 。島民の暮らしを守るためには、自然環境の保護は欠かすことができません。同時に、豊かな自然環境は島の魅力の根源であり、観光客を増加して島の活性化を図るためにも、自然保護は重要な活動目的です。
活動開始	2012年（平成24年）9月
会員数	7名

活動リスト 2012年～

区分	活動内容
自然保護	ウミガメ エラブオオコウモリ 植生保護 タカツルラン シカ対策 松枯れ調査 トレッキングコースの整備 古道の復活
情報の発信	ホームページの管理・運営 「季刊くちのえらぶの自然」の発行 見学会・学習会・講演会

受託した事業や助成

	屋久島町
2013 2014 2015 2016	ウミガメ保護・監視業務 ウミガメ保護・監視業務 ウミガメ保護・監視業務（噴火で中止） ウミガメ保護・監視業務（予定）
	環境省
2014 2015 2016	グリーンワーカー事業 グリーンワーカー事業（噴火で中断） グリーンワーカー事業（内示）
	屋久島環境文化財団
2013 2014	佐賀大学、屋久島まるごと保全協会と共同で助成を受ける 佐賀大学、屋久島まるごと保全協会と共同で助成を受ける

取り組んだ行事

年 月	行 事	協力団体
2013年5月 6月 10月 11月 2014年3月 2016年4月	ウミガメ講演会 タカツラン講演会 エコツーリズム講演会 タカツラン見学会 ウミガメ講演会 えらぶの昆虫・講演会	鹿大ウミガメ研究会 東北大学 東京環境工科専門学校 佐賀大学 屋久島うみがめ館 鹿児島県立・博物館
	授業・見学会の協働	
2013年6月 12月 12月 2014年2月	ウミガメ・コウモリ学習 ウミガメ産卵地カンパン作成 ESD教育プログラムへのデータ提供 (世界遺産学習全国サミット in なら) 昔遊び	金岳小・中学校
	その他の協働	
2016年3月	特別展「口永良部島展」への資料提供	屋久杉自然館

情報発信

年	ホームページ
2012	口永良部島ポータルサイト http://kuchi-erabu.org/
2012	年寄り組ホームページ http://kuchi-erabu.org/senior/
2014	ポータルサイト英語版 http://kuchi-erabu.org/eng/

学会誌投稿・学会報告など

- 1) 小林宏至, 「口永良部島沿岸に定着していた左前肢の欠損したウミガメの報告と情報提供のお願い」, 日本ウミガメ会議, うみがめニュースレター, 96, 16-17, 2013
- 2) えらぶ年寄り組, 屋久島町ウミガメ保護監視業務報告書, 2013
- 3) 辻田有紀, 手塚賢至, 後藤利幸(えらぶ年寄り組), 「屋久島と口永良部島の照葉樹林内の菌共生に関する保全と研究」, 平成 25 年度屋久島環境文化財団助成事業報告書, 2014, 2015
- 4) 徐 慧, 辻田有紀, 深澤 遊, 阿部晴恵, 馬田英隆, 手塚賢至, 後藤利幸(えらぶ年寄り組), 牧 雅之, 遊川知久, 「菌従属栄養植物タカツルランの菌根菌の多様性」, 日本菌学会第 58 回, 大会ポスター発表, 2014
- 5) 辻田有紀, 手塚賢至, 後藤利幸(えらぶ年寄り組), 第 2 回「国際照葉樹林サミット in 屋久島」ポスター発表, 2014
- 6) えらぶ年寄り組, 「前期高齢者ががんばる—口永良部島の自然を大切にす活動やっています—」, 第 2 回国際照葉樹林シンポジウム in 屋久島, ポスター発表, 2014
- 7) えらぶ年寄り組, 屋久島町ウミガメ保護監視業務報告書, 2014
- 8) 小林宏至・後藤利幸(えらぶ年寄り組), 「大隅諸島口永良部島におけるウミガメの産卵・利用・文化」, 日本ウミガメ会議, うみがめニュースレター, 98, 2-6, 2014
- 9) えらぶ年寄り組, 平成 26 年度グリーンワーカー事業「口永良部島における動植物の生息・生育状況把握事業報告書」, 2015
- 10) えらぶ年寄り組, 平成 27 年度グリーンワーカー事業「口永良部島における動植物の生息・生育状況把握事業報告書」, 2016
- 11) 山口英昌, 後藤利之, 木村 祐貴, 坂上 嶺, 佐々木 司, 白井 和紗, 小林宏至, 「口永良部島・北部入り江におけるアオウミガメの回遊生態」 うみがめニュースレター, 投稿中, 2016
- 12) えらぶ年寄り組, 子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組の活動報告「環境省グリーンワーカー事業 2014 年度調査結果より—口永良部島の自然—」, 屋久島通信, 61, 4-5(2015)

ボランティア体験・学習キャンプ 参加募集

開催	7月下旬～年度末
募集	グループで参加(5人～10人) ＜小学生の低学年グループでは、グループ1人程度の付き添いを希望します＞
参加・宿泊費	今年度は無料
食事	実費負担・自炊
集合	現地で集合・解散(交通費自己負担)
使用施設	口永良部島エコパークキャンプ場 (天候により付設の小屋を使います)

詳細は、ホームページに掲載

生徒・学生・若者の皆さん **生物多様性を学び・守る** 口永良部島「ボランティア体験

・学習キャンプ」に参加して、ボランティアとしてユネスコエコパークを体験しませんか。

キャンプでは、島民が続けてきた生物多様性を守る活動に参加して、国立公園でありユネスコエコパークでもある口永良部島の自然や火山・歴史・暮らしを学びます。生物多様性を学び、守ることの大切さを、家族や友達に広めませんか。

「ボランティア体験・学習キャンプ」の日程プラン(例)

	スケジュール	学習の内容
初日	午後 14:50- 15:00- 17:00- 18:30	到着 キャンプ説明、火山・防災学習 夕飯準備 夕食
	夜 19:30-	コウモリ調査＜*シカ調査、昆虫捕獲＞ ミーティング・学習会
2日目	午前 7:00- 8:00 9:00-	朝食準備 朝食 ペリット調査、新村開拓碑見学と歴史学習(天気が良ければ、徒歩ハイキング)
	昼 12:00-	自作弁当
	午後 13:00- 17:00 18:30	ウミガメ・魚調査(夏のみ、天候次第) ＜*オプション 昆虫遠隔指導＞ 他に、植生、タカツルラン、シカ・ノヤギ被害調査、農作業手伝いなど 夕食準備 夕食(可能ならキャンプファイヤー)
	夜 19:30	＜*コウモリ調査の再チャレンジ、ウミガメ画像チェック、昆虫調査＞ 学習会・現地交流会
3日目	午前 7:00- 8:00 9:00-	朝食準備 朝食 ペリット調査 ＜*里めぐり、火山・防災学習＞
	昼 12:00	自作弁当
	午後 13:30 14:30 15:30	古老語り部に聞く
		解散式 出発

季節・天候・参加メンバーなどの状況により、変更します＜オプション*＞。

実施団体	子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組 (略称 えらぶ年寄り組)	連絡先	erabu.info@gmail.com 090-5886-2537 山口英昌
------	---------------------------------------	-----	--